

2026年3月 17日
株式会社 IHI エスキューブ

「健康経営優良法人 2026」に 10 年連続で認定 ～ホワイト 500 獲得～

このたび IHI エスキューブは、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人 2026」に、10 年連続で認定、かつホワイト 500 も獲得しましたのでお知らせいたします。



当社では、IHI グループの経営理念である「人材こそが最大かつ唯一の財産である」に基づき、従業員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮できるよう、健康経営を戦略的に推進しています。創業以来掲げている行動規範「基本は人 チャレンジ」を実現するためにも、従業員が意欲をもって挑戦し、成長していくための基盤として、健康は欠かせない重要な要素です。

2015 年 10 月の健康経営宣言以降、経営トップの積極的な関与のもと、多様なテーマでグッドコンディション活動を展開し、全社一丸となって取り組みを継続してきました。さらに、2021 年 9 月の宣言改定以降は、「健康や幸せの追求が個々の能力や特性を引き出し、成長や豊かな人生、そして企業価値の創造につながる」との考え方に基づき、ウェルビーイング経営の推進をより一層加速させています。

直近では、全基幹職を対象に、産業医によるグループワーク中心のメンタルマネジメント研修会を、対面と WEB のハイブリッド形式で実施しました。あわせて、ライン長を対象とした実践形式の 1on1 研修を行い、コミュニケーションおよびマネジメント力の強化を図りました。

また、若手社員の適応力向上と生活習慣改善を目的に、7 月には新入社員を対象としたグッドコンディション研修を実施し、その後の 10 月には、しまなみサイクリング研修を通じてチームビルディングの強化を行いました。

た。さらに、9月には30代の生活習慣病予備軍社員への保健師面談、11月には入社2年目社員の保健師面談を実施し、若手社員への健康支援の機会を拡充しました。

50代以上の社員についても、高年齢者対策の一環として歩行基礎力測定を行い、運動不足への気づきを促すとともに、つまずきなどによる災害リスクへの意識づけを図りました。

これらの取り組みの成果として、働きがいやワークエンゲージメントは年々向上しています。

一方で、健康診断における有所見者率の増加や、在宅勤務の影響による運動習慣の減少など、ヘルスリテラシー面での課題は依然として残っています。こうした課題に対しても、今後も継続的かつ効果的な対策を進めてまいります。

今後も、ウェルビーイングの実現と多様な人財の活躍を支えるために、「一人ひとりの健幸」と「働きがいを感じられる職場づくり」に全社で取り組んでまいります。そして、健康経営を通じて「従業員一人ひとりの成長と豊かな人生」を実現し、従業員から生み出される価値をもって、さらなる企業価値向上を目指していきます。

【参考】

◆IHI エスキューブ 健康経営について

<https://www.iscube.co.jp/contents/health1.html>

◆経済産業省 健康経営優良法人認定制度：

<https://www.meti.go.jp/press/2025/03/20260309002/20260309002.html>

<「健康経営優良法人」認定制度>

経済産業省が日本健康会議と共同で開始したもので、特に優良な健康経営を実践している企業等の法人を顕彰する制度です。また、健康経営優良法人（大規模法人部門）の中で、健康経営度調査結果の上位500法人が「ホワイト500」として認定されます